

インタビュー

家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ(ニャンコ)その後、どうしていますか?

ロンすけが来て
家がっそう明るくなりました!

京都市左京区 藤井様

昨年11月に藤井さん御家族の一員となった元野犬のロンすけ(センター名:ロン)。迎え入れられた当初は緊張した様子でしたが、一緒に過ごしていくうちに自然と打ち解けていったそうです。

今ではすっかり馴染んで元気いっぱいの毎日を過ごしており、特にお母さんと娘さんが揃うと、遊びモード全開でやんちゃな姿を見せてくれるそう。マッサージが好きで、取材時もお母さ



▲庭で遊ぶロンすけ



▲大好きな娘さんと一緒にニコッリ笑顔♪



▲誕生日プレゼントの犬用おやつに興味津々の表情!

んにマッサージをしてもらって、ニコニコ嬉しそうな表情を見せてくれました。

また、SNSを通じてロンすけの兄妹の飼い主さんとも交流が生まれています。互いの投稿を見ると、別々の環境で暮らしているにもかかわらず、仕草などに共通点が見つかるそうです。「仲の良い兄弟姉妹だったので、いつかみんなで集まることができたら楽しそうですね!」と話に花が咲きました。

今年の1月にはロンすけの1歳の誕生日を御家族で祝われたそうです。人の多い場所の散歩はまだ難しいとのことですが、「今後は一緒に外出できる範囲を徐々に広げていきたい!」と楽しそうに語られていたのが印象的でした。

新しいお家でのびのびと過ごすロンすけを見て、心温まる取材でした。これからも大好きな家族と楽しい思い出をたくさん作ってね!(大森)

犬猫の飼い主さん募集

~新しい飼い主さんになっていただけませんか?~

センターでは、引き取った犬猫のうち、適性があると判断した犬猫を希望者に譲渡する制度があります。犬や猫の譲渡を希望される方は、是非センターまでお問合せください。ただし、犬や猫の譲渡には、以下の条件がありますので、あらかじめ御了承ください。

譲渡できる方の主な条件(詳細は、センターへ御確認ください。)

- ・京都府域にお住まいの成人で、譲渡希望者自身が飼い主となること。
- ・ペットの飼養が制限されていない住宅にお住まいであること。
- ・飼い主として責任を持ち、家族の同意を得て、家庭で犬や猫を適正に終生飼養できること。 など

ぼくたちと暮らしませんか?

※既に譲渡先が決定している場合があります。



譲渡犬・譲渡猫の詳しい情報は
こちらから

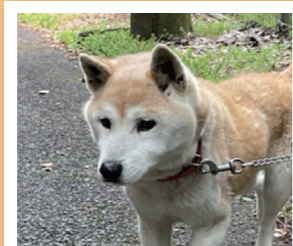
毎月開催!

犬の譲渡会
(保護犬見学会)

*詳細は愛護センターHPを
ご確認ください。



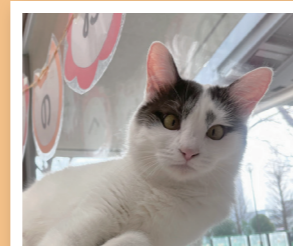
きなこ(雑種、オス、2歳、19kg)



とき(雑種、メス、15~16歳、8.5kg)



ぶんた(雑種、オス、14歳、6kg)



みゆき(雑種、メス、1歳、3.8kg)

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
 - 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
 - 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩5分
- ※無料駐車場はございません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
TEL: 075-671-0336
FAX: 075-671-0338
開所時間: 午前9時~午後5時
休所日: 木曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始

Facebook → <https://www.facebook.com/anilove.kyoto/>
Twitter → <https://twitter.com/kyotoanilove>



京都動物愛護センターマスコットキャラクター
LINEスタンプ第2弾発売中



本紙の作成には「京都市動物愛護事業推進基金(人と動物が共生できるまちづくり基金)」が活用されています。動物愛護推進基金に寄附していた方のうち、希望者についてはホームページで公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。なお、寄附の方法については、こちらのホームページを御覧ください。

→<https://kyoto-ani-love.com>

この機関紙は行政とボランティアが協働で作成しています。

京都動物愛護センター機関紙



京都動物愛護センター
マスコットキャラクター
都(みやこ)ちゃん
令和5年度 春号

愛ランド通信

LINE
スタンプ
第2弾
発売中

—人と動物の共生を目指して—

特集

「ねこの
避妊・去勢って
なあに?」

特集

ねこの避妊・去勢って、なあに？

「避妊・去勢手術」

猫と一緒に暮らしている方なら、一度は耳にした事があるかもしれません。では、一体どのような手術なのでしょう？猫を飼っている方も、これから飼われる方も、避妊・去勢手術について一緒に考えてみましょう。

1. 避妊・去勢手術は、なぜ必要？
2. 手術はどんなことをするの？
3. 避妊・去勢手術で多頭飼育崩壊は、防げるの？

① なぜ必要なの？



健康な体にメスを入れるなんて可哀想かな？

避妊・去勢手術をするべきか、多くの飼い主さんが一度は考え悩む事だと思います。どのような効果、注意点があるのでしょうか？

○ 望まない繁殖の防止

→脱走時の妊娠や多頭飼育崩壊などを防止

○ 発情期独特の鳴き声防止

○ スプレー行為（マーキング）の防止

※個体差あり（軽減はされても無くなることも）

○ 病気の予防

→生殖器系疾患や乳腺腫瘍などを予防

※初めての発情期を迎える前に手術すると、予防率が上昇します。

期待できる効果

- ・手術後は肥満になりやすい傾向がある
※肥満になると下部尿路疾患のリスクが上昇します。
- ・手術時の全身麻酔による身体への負担

注意点



手術による良い効果がたくさんあるね。手術についてわからないことは、獣医さんに相談しようね！

② 手術はどんなことをするの？

オスとメスで手術内容が異なります。手術は日帰りで行うことができる病院もあります。



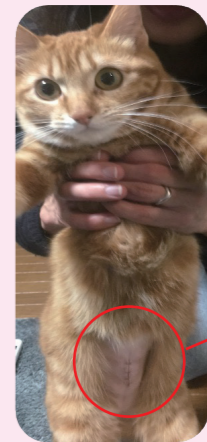
- ・メス、推定8歳
- ・卵巣摘出



- ・オス、推定4歳
- ・精巣摘出

自治体によっては手術費用の補助を受けられるにゃん

手術してもらったにゃん



メスの場合の手術痕



地域でお世話をしている「まちねこ」たちは、手術が終わった目印として、耳をさくらの花びらのような形にカットしています。

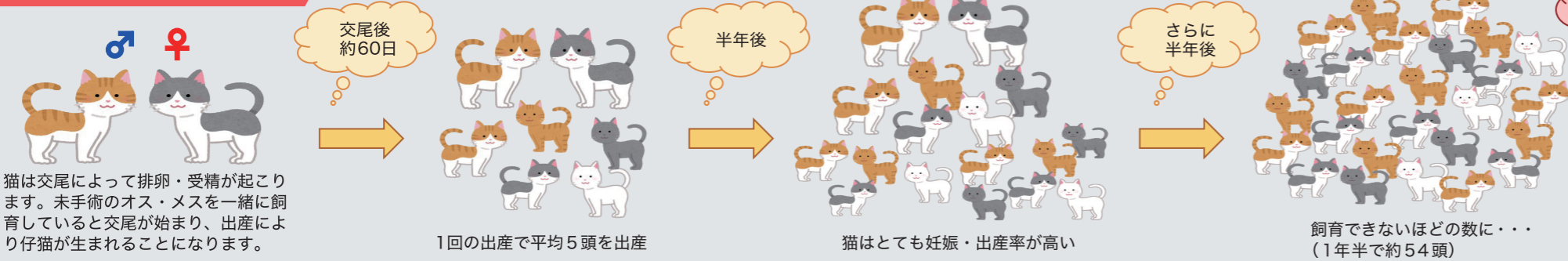
③ 避妊・去勢手術で多頭飼育崩壊は防げるの？

多頭飼育崩壊とは、増えすぎて適正に飼育できる頭数を超えてしまうことを言います。避妊・去勢手術により、望まない繁殖を防ぐことで、多頭飼育崩壊を防ぐことができます。猫は非常に繁殖力の高い動物です。環境省は計算上、1匹のメスから3年後には2,000頭以上に増えると試算しています。

発情行動は猫の本能です。猫自身にはどうすることもできないのです。発情のストレスや望まない妊娠出産をなくし、猫の健康とQOL（Quality of Life：生活の質）を守るためにも、避妊・去勢手術のこと、しっかり考えてみませんか？大好きな家族との時間を少しでも長く快適に過ごしましょう！（A.O）

大切な家族を守るために

手術をしないと たった1年で数倍もの数に・・・



犬と旅行するときに必要なこと

最近では、犬と利用できる店や宿泊施設も増えて、帰省や旅行と一緒に連れていきやすくなりました。一方で、旅先での飼い犬をめぐるトラブルも多くあります。旅先でのトラブルとしては、飼い主のマナー不足による人とのトラブル、乗り物酔い、熱中症、ストレスや誤飲などの体調面のトラブル、パニックによる失踪などが考えられます。とくに旅先での失踪は、慣れない場所ゆえに事故の危険性や発見できないリスクも高くなります。

普段から犬との旅行に必要な準備を行い、外出時は犬が苦手な人やアレルギーの人への配慮を忘れないようにしましょう。



注目！

普段からできる準備

- ✓ クレートやキャリーに慣れさせておく。
- ✓ 狂犬病予防ワクチンの接種と飼い犬登録を行い、鑑札と注射済票を装着する。
- ✓ 感染症から身を守るために混合ワクチンの接種やノミ・ダニ対策を行う。ワクチンの接種証明も用意しておく。
- ✓ 首輪やハーネスに迷子札をつけておく。マイクロチップを装着している場合は、登録情報と現状との齟齬がないか確認する。
- ✓ 基本的なしつけ（お座り、待て、呼び戻しなど）を行う。すぐ興奮して吠えるなど周囲に迷惑を掛けることがないよう十分な社会化をする。
- ✓ トイレトレーニングを行い、外出時はトイレ用品を用意する。

旅先では、初めての場所や見知らぬ人、他の犬など、犬へのストレスも多くなります。つねに様子を確認しながら、無理をさせないようにしましょう。ペットホテルや病院に預ける、ペットシッターを利用して家で留守番をさせる、親族や友人知人に預けるなど、旅行に連れて行かない選択を検討することも重要です。（Y.O）

川柳

～犬猫あるある～

おもちゃより届いた箱が大人気



土日祝寝溜め予定も起こされる



高級な猫ベツトより段ボール



笑う犬視線の先におやつあり

